

〈目次〉

- サステナビリティに関する情報開示の考え方
- 編集方針
- 会社情報
- コーポレートミッション
- トップコミットメント
- サステナビリティへの取り組みのあゆみ
- 森永乳業のCSR
- 7つの重要取組課題
 - 健康・栄養
 - 環境
 - 人権
 - 供給
 - 次世代育成
 - 人財育成
 - **コーポレート・ガバナンス**
- > コーポレート・ガバナンス
- > **コンプライアンス**
 - 情報セキュリティ

- データ集
- 第三者保証
- GRIスタンダード対照表

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスについては、コーポレート・ガバナンス報告書および統合報告書にて開示しています。

WEB

コーポレート・ガバナンス報告書
▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/ir/management/governance.html>

統合報告書
▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/ir/library/annual.html>

基本的な考え方

持続的な成長と企業価値の向上の実現に向けて、実効性の高いガバナンス体制の整備および充実に継続的に取り組みます。

KPI

活動の方向性	KPI
取締役会における、多様な価値観に基づいた、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定	取締役会評価における評価点およびコメントの内容（取締役会の多様性、審議内容）
マネジメント体制の強化	各種定例委員会（人事報酬委員会、内部統制委員会、CSR委員会）の充実

コンプライアンス

基本的な考え方

行動規範に則り、取締役および使用人が、法令および定款、社規社則、社会倫理の遵守を企業活動の前提として、経営理念の実現に向けて職務を遂行することを徹底しています。

コンプライアンス行動基準

森永乳業グループでは、全役員・全従業員がコンプライアンスを日々実践する上での具体的な行動基準を「アクションチェック5カ条」「私たちの勇気」として明示しています。これらの行動基準はコンプライアンスカードとしてまとめられ、全員が携行し、日々の業務において自らに問いかけることを徹底しています。全員がその内容を十分に理解し行動することで、「社会から信頼される森永乳業グループ」になることをめざしています。

【アクションチェック5カ条】

今、自分がやろうとしていることは、

1. 法令に違反していないか？
2. 社会的に非難されないか？
3. 家族や友人、知人に知られても恥ずかしくないか？
4. 森永乳業グループ全体の信用やブランドに傷がつかないか？
5. 自分の良心に背いていないか？

【私たちの勇気】

1. 上司の命令でも断る勇気
2. 隠さない勇気
3. 見て見ぬふりをしない勇気

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成

● **コーポレート・ガバナンス**

コーポレート・ガバナンス

- > **コンプライアンス**
- 情報セキュリティ

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

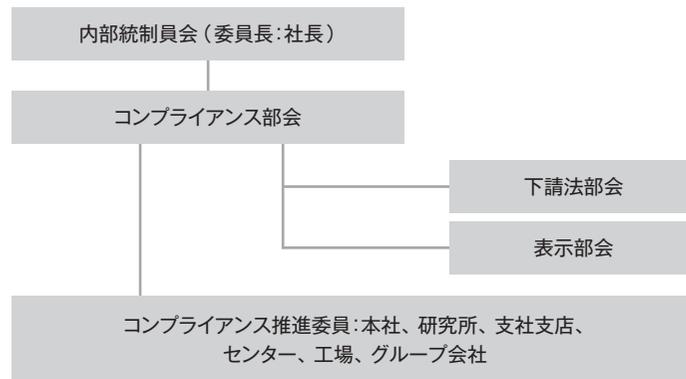
体制

森永乳業グループでは、社長を委員長とする「内部統制委員会」を組織し、下部組織として「コンプライアンス部会」「リスク管理部会」「財務報告部会」および「情報セキュリティ部会」の4部会を設置し、グループ全体の内部統制をはかるとともに、監査を支える体制の整備にも努めています。

コンプライアンスの推進は、主にコンプライアンス部会を中心に実施され、コンプライアンス活動方針の決定、活動の指示、確認が行われます。

また、組織（本社各部、事業所、グループ会社）ごとにコンプライアンス推進委員を配置し、活動を推進する他、相談窓口として組織内の対応にあたり、必要に応じて内部通報制度への橋渡しを行います。

コンプライアンス推進体制



コンプライアンス意識の浸透

コンプライアンス意識の浸透・定着のために、森永乳業グループでは、階層別研修、グループ会社を含む組織別研修、e-ラーニングを実施しています。

コンプライアンス研修

コンプライアンス理解の他、経営理念、意識と行動、マナー・モラル違反、内部通報制度、ハラスメント、交通法規違反、情報漏洩、過重労働、反社勢力対応、メンタルヘルス、表示問題、下請法違反行為など、幅広い項目を取り扱っています。

対象：階層別研修（新入社員、主事・管理職昇格者、キャリア採用者、事務責任者、グループ新任役員）、事業所別研修・グループ会社別研修では組織の関係者（従業員、派遣社員、パートおよび協力会社従業員など職場を同じにする人々）等

コンプライアンス研修実施状況（森永乳業グループ）

	2015	2016	2017	2018
受講者数(名)	2,764	3,985	4,984	5,151

e-ラーニング

対象者と受講内容

森永乳業グループ従業員	短編のe-ラーニング「コンプライアンス教室」
主事昇格者	「企業倫理・コンプライアンス基本コース」
管理職昇格者	「労務管理基本シリーズ」「職場のパワー・ハラスメント」
グループ会社の取締役・管理職	「企業倫理・コンプライアンス基本コース」「セクシュアル・ハラスメント防止コース」「パワー・ハラスメント防止コース」「マネジャーのための職場のメンタルヘルスケア基本コース」「労務管理の基本的な考え方編」「労務管理と職場環境づくり編」「ビジネス・コーチング基本コース」

全グループ従業員対象のe-ラーニング実施状況（2018年度）

	4月	6月	8月	1月
受講者数(名)	5,985	5,408	5,751	5,949
修了率(%)	80	73	77	80

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成

● **コーポレート・ガバナンス**

コーポレート・ガバナンス

- > **コンプライアンス**

- > **情報セキュリティ**

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

コンプライアンス相談窓口「森乳ヘルプライン（内部通報制度）」

森永乳業グループでは、従業員がコンプライアンスに関する相談をする際の窓口として「森乳ヘルプライン」を設けています。森乳ヘルプラインは、社内相談窓口に加えて、弁護士を情報受領者とする社外相談窓口も設置しています。相談者の氏名、所属、相談内容などは法律や社内規程で守られているので、従業員はだれでも安心して相談をすることができます。不適切な状況については対象部門に通知と改善指示を行い、その後相談者にその改善の確認を行います。通報者自身の業務に関する相談や質問については、必要により弁護士の見解も含め、対処方法などをアドバイスします。

また、コンプライアンス部会へは、四半期毎にヘルプラインの状況を報告し、必要な社内体制の整備を行っています。

「森乳ヘルプライン」相談件数

	2015	2016	2017	2018
相談件数全体（件）	33	53	46	44

情報セキュリティ**基本的な考え方**

森永乳業グループは、保有するすべての情報資産に対して、機密性、完全性、可用性を維持・管理し、積極的な活用を行うことで業績の向上を目指すことを基本的な考え方としており、全役員、従業員などに周知しています。

また、外部環境の変化への対応および情報セキュリティ管理をより確実にするため、関係する規程類を取り決め、適宜、見直しています。

体制

森永乳業グループでは、社長を委員長とした内部統制委員会を組織し、下部組織として「情報セキュリティ部会」を設置しています。当社グループの情報セキュリティに関する課題を明らかにし、その対応策の立案と実行および監査を主導することを目的に、月1回開催されています。情報セキュリティ部会では、確実な情報セキュリティ対策を行うための対策案を立案し、実行をしています。

社内の各部門およびグループ会社においては、各組織長が情報セキュリティについて責任を負っています。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- **コーポレート・ガバナンス**
 - コーポレート・ガバナンス
 - コンプライアンス

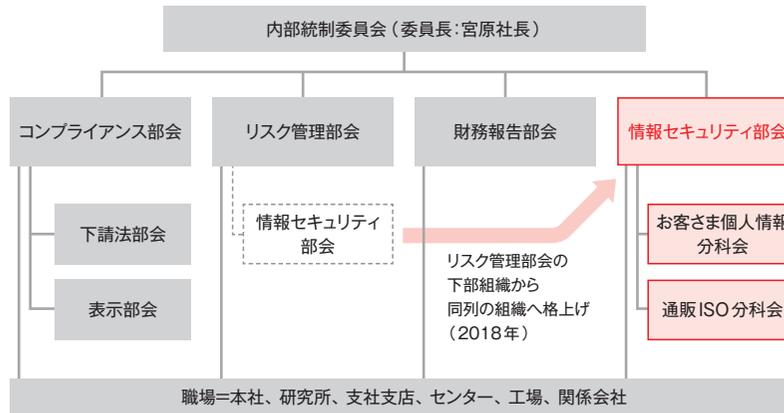
> **情報セキュリティ**

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

情報セキュリティ体制



情報セキュリティ対策

情報セキュリティに関する重大インシデントの発生

2018年4月に森永乳業グループの通販サイトのサーバーに外部から不正アクセスが行われ、カード情報およびカード情報以外の個人情報の流出が確認されました。本件は第三者機関に調査を依頼し、対策を講じています。多くのお客さまに多大なるご迷惑をおかけする事態になりましたことを、深くお詫びいたします。

WEB 健康食品通販サイトにおけるお客さま情報の流出に関するお詫びと調査結果のお知らせ
 ▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/release/newsentry-2899.html>

情報の流出などインシデント発生時の対応

情報流出などのインシデントが確認された場合、緊急問題処理基準に則り、迅速な対応をとってまいります。

インシデント発生時は、社長を本部長とする対策本部の設置や、全役員と関係部署への速やかな情報の周知を行うとともに、緊急問題の解決にあたります。

また、調査の結果、委託先や従業員等の法令違反が確認された場合には、制裁解雇や刑事告発、民事責任の追及等の対応を行います。

情報セキュリティ対策の取り組み

森永乳業では重大インシデントの発生を受け、不正アクセス対策を優先的に進めています。

技術的・物理的対策だけではなく、セキュリティ基準（ルール）の見直しや脆弱性対応のさらなる強化など、体制面でも継続的に対策を行っています。

なお、年々高度化するサイバー攻撃への対策として、全従業員に標準的な攻撃メール訓練、デバイスなどの情報機器のウイルス対策の徹底などを実施しています。

情報セキュリティ管理に関する教育

標的型メール訓練、全社向けのセキュリティ説明会、コンプライアンス研修内での情報セキュリティの知識の普及を行い、森永乳業グループ従業員の情報セキュリティの知識向上を目指しています。